

令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立倉敷中央高等学校	
実践者等		藤田 昌子	実践日 令和4年5月23日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		基礎看護 環境調整技術	
対象生徒(学年等)		看護科1年生	
育成を目指す資質・能力		☐ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☒ 学びに向かう力・人間性等	
分類	授 業 中	☒ クラウドやアプリの活用 ☒ デジタルデータの保存 ☐ 思考やデータの可視化	
		☒ データの共有や共同編集 ☒ 対話を充実させる活用 ☐ 思考を促す活用	
		☐ 表現を充実させる活用 ☒ 課題のやり取りと評価の支援 ☐ 効率化や省力化	
		☐ その他 ()	
家庭学習		☒ 振り返り ☒ 探究 ☐ 反転学習 ☐ 補習・定着	
実践の内容			
【授業前】 (1) 授業前の3日間、次のことを取り組ませる (単元やねらいを伝えていない状況) ・問題点を多く含んだ「病床環境」の部屋をつくっておき、そこを見せる ・問題と感じるところをChromebookのカメラ機能を使って写真を撮影させる ・ChromebookのJamboardに写真を挿入させグループで問題点を入力させる ・発問は、「何が問題だと感じるか」「どうして問題なのだろうか」看護師として患者の部屋を訪室して感じてみよう」と呼び掛ける 【授業】 (2) 展開 ・(1)について発表させる ・人間としての尊厳が守られる安心感のある環境を作り出すことが健康回復の促進に重要であることを気づかせる ・具体的な環境整備の方法について考えさせる (3) まとめ ・環境調整に関する看護国家試験過去問題をFormsで解かせる ・次回は環境調整の演習をすることを伝え課題を示す			
 1 ペ - ベットのレバーがあがっている - お菓子のゴミがある ひきだしが開きっぱなし - シーツが乱れている - 水が溢れている - シーツが汚れている - 服がめくれている - おむつがきちんと出ていない - スリッパが乱れている - 頭が枕の端にある - きちんと側臥位になっていない - 髪の毛が落ちている - ゴミがある。			
【本時と家庭学習との連動】 (本時前) カメラ機能を使って問題となるところを撮影しておいたり、グループメンバーでJamboardを共有させておいたりすることで、休憩時間や自宅でも確認が可能となり、主体的な学びに向かえるように生徒を動機付ける。 (本時後) 課題解決に向けての改善策を考えさせる。休憩時間、家庭学習で課題解決に向け動画や教科書などで探求させ演習計画をレポートで提出させる。			